

令和2年11月25日  
全国高等学校教育改革研究協議会



高校生の「地域留学」の推進のための  
高校魅力化の支援について

内閣府 地方創生推進室

# 高校生の地域留学の推進のための高校魅力化支援事業（内閣府地方創生推進室）

令和3年度概算要求額 **1.6億円**【うち要望枠0.3億円】  
（令和2年度予算額 1.7億円の内数）

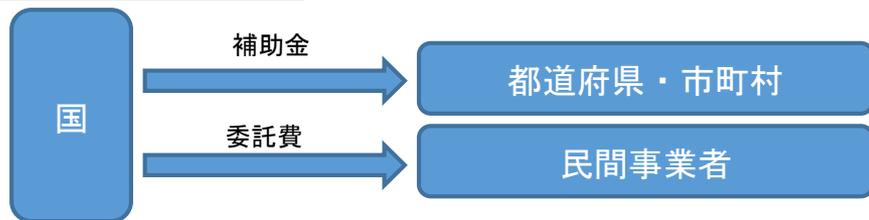
## 事業概要・目的

- 離島や中山間地域を中心に、地域の高校を存続させることが喫緊の課題となっています。高校の魅力化が総人口の5%超の増加やプラスの財政効果をもたらしたとの報告もあることから、高校を核とした地方創生の取組へのニーズは高まっています。
- 地域の将来を支える人材を育成する観点から、高校生の段階で地域への理解や愛着を深めることが重要ですが、とりわけ、高校生が育った地域と異なる地域の高校で一定期間を過ごす「地域留学」は、地方の魅力を知る機会として有効と考えられるとともに、将来的には「関係人口」として地域との多様かつ継続的な関わりを持つことが期待されます。
- このため、全国から高校生が集まるような高校の魅力化を行うことにより、高校生の「地域留学」を推進します。

## 事業イメージ・具体例

- 高校生の地域留学の推進やそれによる関係人口の創出・拡大を目指す地方公共団体は、全国から高校生が集まるような魅力化に取り組む高校、大学、企業、NPO等の地域の多様な主体とコンソーシアムを構築し、将来の自走も視野に、高校生の地域留学に関する中長期的な計画を策定します。  
当該計画のうち効果が見込まれるものについて、高校と地域をつなぐコーディネーターの配置等による高校魅力化のためのモデルとなる取組を、補助金により支援します。
- また、民間事業者への委託により、地域留学を円滑に進めるための仕組みや体制づくり等のサポートを行うとともに、地域留学を行う生徒の募集や生徒間・学校間の交流、好事例の横展開を図るためのイベントを実施し、更なる取組の促進や地域留学への機運醸成を図ります。

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 高校生の段階での新たな人の流れを生み、将来的な地域の担い手の育成・確保とともに、関係人口の創出・拡大や移住へつなげます。
- 高校魅力化に関する地域の連携・協力体制を構築し、高校を核とした地域活性化や地方創生を実現します。

# 高校生の「地域留学」の推進のための高校魅力化の支援

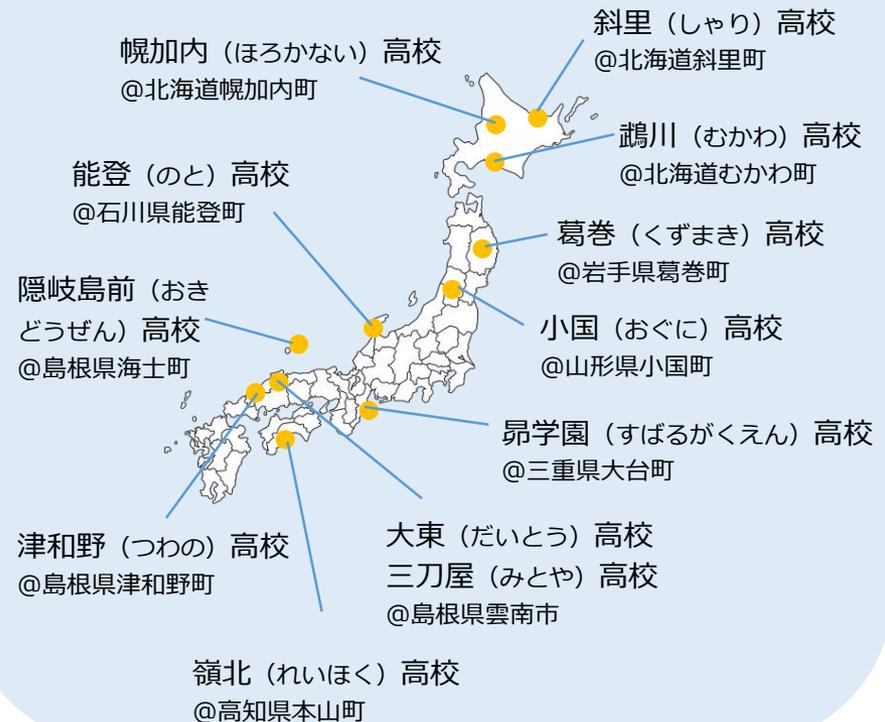
- 離島や中山間地域を中心に、「地域で唯一の高校」を存続させることが喫緊の課題。
- 将来的な「関係人口」の創出・拡大の観点からも、高校生という人生の早い段階で、他の地域の高校で過ごす「地域留学」を推進するため、全国から高校生が集まるような魅力的な高校を目指していく「高校魅力化」のための取組を支援。
- 他の地域の高校へ進学して3年間を過ごす「地域みらい留学」が広がりを見せる中、内閣府においては、高校2年生の1年間を地域で過ごす「地域みらい留学365」をスタート。

さんろくご



## 令和2年度採択高校一覧（全12校）

令和2年度予算額：1.7億円の内数



# 「地域みらい留学365」の流れ

違う環境で色々なことに  
挑戦したい!  
新たな自分を見つきたい!



1年

## 在籍高校

留学後の「なりたい自分」をイメージ。  
留学前研修を通じて  
1年間の留学生生活を計画しよう!

地域ならではの魅力と  
課題に向き合い  
新しい仲間と共にチャレンジしたい!



2年

## 地域留学先高校

新たな環境で留学生活スタート。充実した  
1年間とするため、自分のテーマに向き合おう!

成長した自分の力を発揮し、  
みらいに繋がる  
自分らしい進路を決めたい!



3年

## 在籍高校

「なりたい自分」を実現するための  
大きな一歩。地域留学の経験を活かし、  
主体的に自分の将来を切り拓こう!

## 留学までの流れ

※留学までの流れは学校により一部異なる場合があります

7月 ▶ 10月

WEB等で情報を集め、  
イベントに参加する

「地域みらい留学365」を知り、  
興味のある留学先の学校情報を調べよう

10月 ▶ 12月

在籍する高校に相談し  
学校間での調整を開始

在籍校・留学先校と一緒に、教育課程  
などについて、具体的な調整を始めよう

留学を希望する  
学校を決定

応募書類を提出し、検査(書類・面談・  
学力テストなど)を受けよう

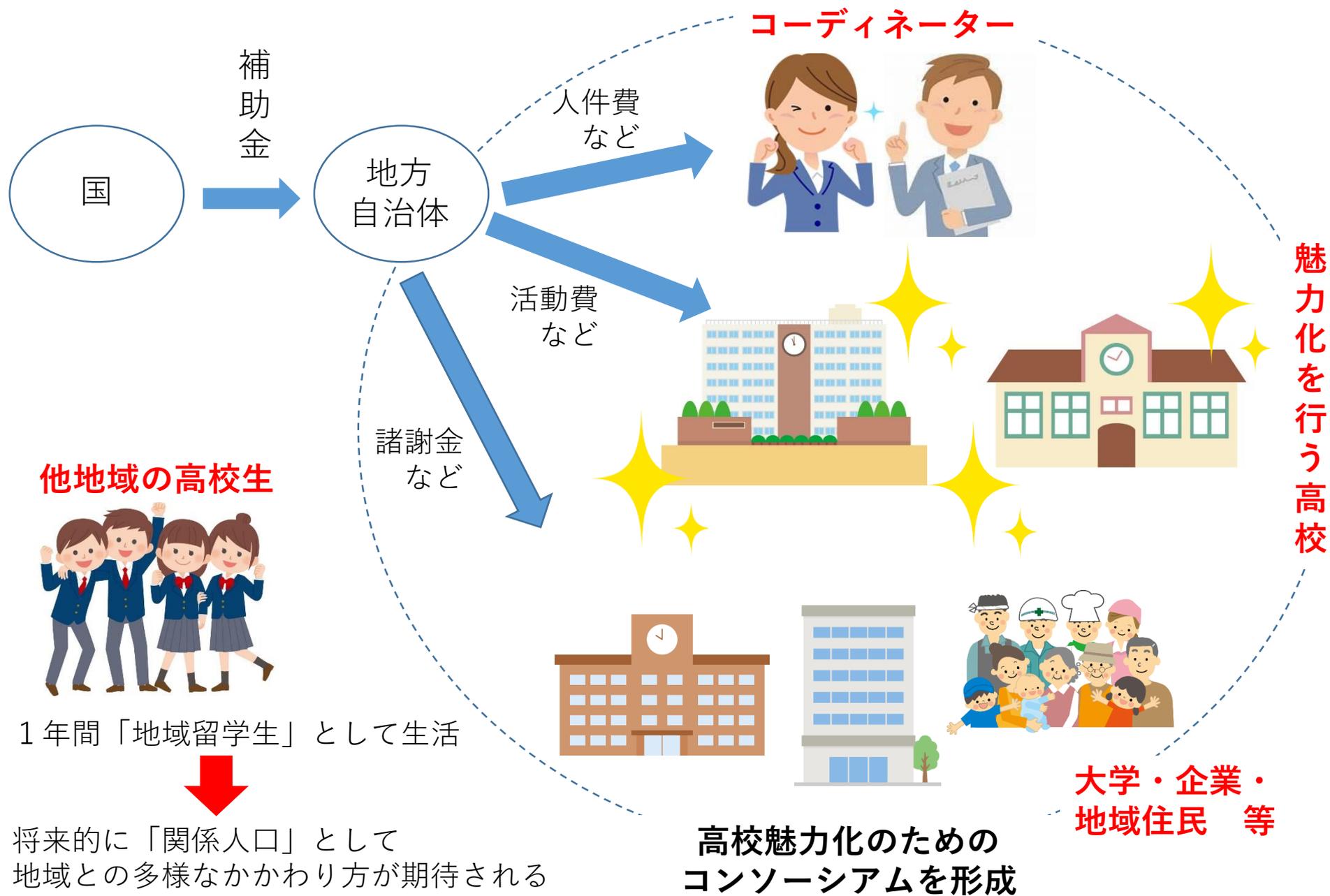
2月

留学先の学校と  
最終的に意思を確認

学校間での調整事項をまとめた確認書  
を作成し、最終手続き書類を提出しよう



# 想定している事業スキーム



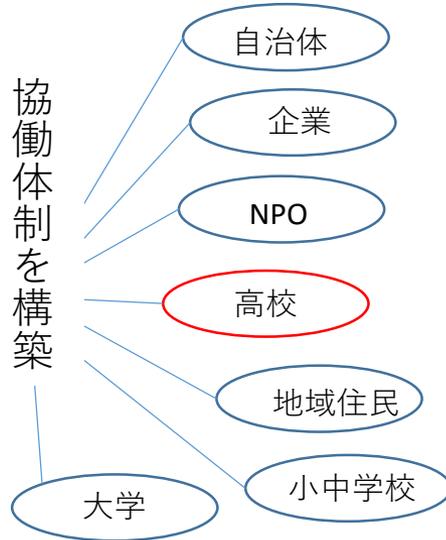
# 参考：取組の核となるコーディネーターとその役割

## コーディネーター

(既存の人材がない場合は配置を支援)



協働体制を構築



### 主な役割

#### 【地域づくり】

- ① 地域の課題を抽出
- ② 将来のビジョンづくり
- ③ 地域資源の掘り起こし・開発

#### 【高校を活用】

- ④ 高校を活用した取組の企画・支援
- ⑤ 高校魅力化を実現
- ⑥ 地域留学のための環境整備

#### 【地域に根付く】

- ⑦ 取組継続のための社会資源の確保

関係人口として  
継続的に関与



課題：

誇れる「名物」がない

ビジョン：

地場のフルーツを使ったスイーツ開発

地域資源：

- ・「食物科」をもつ専門高校
- ・地元出身の一流パティシエ
- ・協力的な商店街、小売店

高校魅力化：

一流パティシエとスイーツ開発に取り組むことができる食物科づくり

必要な支援：

- ・パティシエ招へいに係る旅費・謝金
- ・商品試作に要する費用
- ・プロモーションに要する費用
- ・東京圏をはじめとする他地域からの見学の際の移動費（一部）等



想定される効果：

#### 【地域・高校】

知名度やブランド力の向上、商店街の活性化

#### 【地元の高校生】

地元の魅力の再発見、地元への定着や貢献意識

#### 【他地域の高校生】

「ならでは」のチャレンジが可能、地域の魅力を認識

## 支援の対象・期間等

### 申請主体

東京23区を除く、すべての地方公共団体。  
高等学校を設置していない地方公共団体もOKです。  
(例：域内の県立高校の魅力化に市町村が取り組む)

### 対象となる高等学校

東京23区に所在する高等学校を除く、国・公・私立すべての意欲ある高等学校。  
複数の高校を対象とした申請、複数の市町村にまたがる申請もOKです。

### 申請の条件

地域の課題やビジョンを踏まえ、取組を担うコーディネーターが存在すること。  
その取組のために連携・協働するコンソーシアムが構築されていること。  
地域留学生の学習・生活環境が整備されていること（高等学校の定員枠、寮 等）。

### 支援規模・期間

1,000万円（補助率100%）・5年間を予定。  
1,000万円は目安であり、上限は設けません。計画の内容に応じて柔軟に対応します。  
ただし、申請にあたっては、6年後の自走に向けた計画の提出を求めます。

### 支援の対象（主に想定されるもの）

コーディネーターの person 費、高校の魅力化に係る活動費、活動に係る諸謝金 等。

# 申請に向けて必要となるご準備等

## 本事業の肝となるコーディネーターの選定

適任者の事前の雇用が難しい場合は、求める人物像や雇用に向けた見通しについての説明を求める予定です。また、高校魅力化及び地域留学の継続のためには、このコーディネーターが肝となると考えられることから、国からの補助が終了した後の事業の計画についても説明を求める予定です。

## 対象とする高校の選定

先述のとおり、東京23区内を除く以外の要件は設けませんが、対象とする高校の考え方について、地方創生や関係人口の拡大・創出という本事業の趣旨を踏まえた説明を求める予定です。

## 高校で取り組む魅力化プログラムの策定

地域の課題や将来ビジョンを踏まえ、どのように高校を魅力化するのかについて説明を求める予定です。

## 「魅力化」の吟味

他の地域の高校生が「行きたい！」と思えるような魅力化になっているか、大人目線の魅力化ではなく、高校生にとっての魅力化であることについて説明を求める予定です。

## 高校魅力化のために連携・協働するコンソーシアムの構築

申請主体となる地方自治体、取組の場となる高校に加え、魅力化の実現のために必要となる主体との連携・協働体制について説明を求める予定です。

## 地域留学生の受入体制の準備

対象とする高校の定員充足状況も踏まえ、地域留学生の受入目標や条件を適切に設定するとともに、受入にあたって必要となる寮等の生活環境の整備状況について説明を求める予定です。

来年度の募集は令和3年1月中旬頃から開始予定です。

詳細は地方創生HP、SNS等でお知らせいたします。